

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルベリ			
○保護者評価実施期間	令和8年 7月 1日		～ 令和8年 7月 25日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和8年 7月 1日		～ 令和8年 7月 25日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 7月 1日		～ 令和8年 7月 31日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 7月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園とコミュニケーションを取っている。	放課後等デイサービス、児童発達支援の利用が多いので、お迎え時にコミュニケーションを取ることができる。	お迎え時から該当児の聞き取りを行い、支援に繋げていく。
2	専門の職員が在籍している。	報告書を基に専門的な視点から、支援に繋げることができている。	専門の職員も訪問に行き、専門的な視点からの見立てなどを訪問先と共有するように努める。
3	放課後等デイサービス、児童発達支援を行っているので、保育園の様子との違いが分かりやすい。	違いを保護者に伝える努力をしている。	訪問先の職員と連携し、支援を行うように努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の経験年数が浅い。	昨年度から取り組み始めたので、十分な訪問が出来ていない。	特定の職員だけで訪問に行かず、それぞれが知識を付けていけるように努める。
2	専門職の職員の訪問機会が少ない。	昨年度から取り組み始めたので、十分な訪問が出来ていない。	訪問の際には積極的に専門職の職員に訪問してもらい、多角的支援に繋げる。
3	事業所で、家族に対して家族支援プログラム、家族で参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	開催はしているが参加しにくい雰囲気があったのかもしれない。	定期的に親子参加型イベントを開催し、相談会に参加できる機会を増やすように努める。

公表

保護者からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名	ルベリ
------	-----

公表日 2026年 9月 1日

利用児童数

1

回収数

1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。				1		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

訪問先施設からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026年 9月 1日				
ルベリ		利用児童数 1 回収数 1				
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1				
5	事業所からの支援に満足していますか。	1				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
利用者がそちらの事業者に通い始め、様々な成長が見られるようになりました。以前よりも他児との関わり、コミュニケーションをとり、たくさん会話も増え、そちらでの様子も伝えてくれています。集団活動よりも更に密となり、本児に寄り添い、様々な課題に取り組んで頂いていると思います。今後とも少しの事でも連携をとりながら本児の為の支援に繋げていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。				温かいご意見をいただき誠にありがとうございます。様々な成長が見られているとのことで大変嬉しく存じます。訪問先と行っている活動が違うので、本児の成長の見え方も異なると思いますが、今後もそれぞれの場所における様子を共有しながらより密に連携をとり、本児の支援に繋げて行くことに努めてまいります。		

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		ルベリ					公表日	2026年 9月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要と思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2		・ 支援計画書を持っていき、訪問支援を行いながら目標を確認できるようにしている。 ・ 利用者の現状に合わせた教員教材を準備している。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		・ 二人体制で訪問していて、見落としがないように心がけている。 ・ 人員配置を遵守して運営している。			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1	・ 週礼で定期的に業務改善を進めるための話し合いを開催している。	・ 職員全員が訪問できているわけではないので改善してまいります。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・ 保育所等訪問支援の保護者向け評価表は今回は初めてだが、児童発達支援や放課後等デイサービスに関しては保護者の意向を把握して業務改善につなげている。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	・ 朝礼や週礼、個人面談を通して職員の意見を把握し、業務改善につなげている。	・ 実際に訪問に行ったことのある職員が少ないのでイメージがつきにくい部分もあるので、満遍なく職員が訪問できるように改善してまいります。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		・ 第三者評価を実施していないため、今後の導入を検討いたします。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1	・ 定期的に外部研修や社内研修で学ぶ機会を確保している。	・ 学ぶ機会を確保しているが、受講回数が少ないので増やせるように改善してまいります。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		・ 療育内とは違う一面もあるのでモニタリングを通して計画書を作成している。 ・ ニーズや課題を把握した上で、保育所等訪問支援計画を作成している。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		・ 児童発達支援管理責任者のみではなく、訪問に行った職員と相談している。 ・ 職員間で会議を開き、共通理解の下で保育所等訪問支援計画を作成している。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		・ 訪問施設に内容を確認していただき、相違がないようにしている。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・ 保育所等訪問支援計画を職員間で共有している。			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		・ 利用者の状況を様々なアセスメントを使用して確認している。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		・ ガイドラインに沿った支援内容を設定している。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		保育所等訪問支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1	・ 朝礼で打ち合わせを行っている。	・ 実際に訪問に行ったことのある職員が少ないのでイメージがつきにくい部分もあるので、満遍なく職員が訪問できるように改善してまいります。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		・ 朝礼で前日の振り返りを行っている。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先の理念や支援方法を尊重している。			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		・ どのような場面で起こったかなど細かい記録を心がけている。 ・ 記録を取り、改善に努めている。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		・定期的に保育所等訪問支援計画の見直しを行うようにしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		2		・保育所等訪問支援を開始して間もないため、関係機関との会議にはまだ参加していない現状ですが、機会があれば参加する予定で
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		2		・訪問先には支援計画を共有しているが、その他機関との連携が出来ていない部分もあるので、改善に努めてまいります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		2		・保育所等訪問支援を始めて間もないため、意向を経験していない。今後、移行がある際には支援内容等の情報共有と相互理解に努めます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1	・外部研修の紹介を行っている。	・外部研修へ参加する職員が少ないため、積極的な参加を進めていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		2		参加できていないので、今後検討いたします。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		・日常的に子どもの状況を保護者と伝え合い、共通理解の上で支援している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	・定期的に親子参加型イベントを企画し、情報提供の場を作っている。	・イベントの企画、開催しているが、相談しにくいのか相談等は少ない。聞ける体制を整えていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		・契約時に必ず説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		・訪問先に対し、適宜説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		・子どもや家族の意向を確認した上で保育所等訪問支援計画を作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		・支援内容の説明を行った上で同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		・相談に対して必要に応じて面談の場を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2		・定期的に親子参加型イベントを開催し、保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設けている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		・相談に対して迅速に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		・HPやSNSを活用して活動の様子を発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・保護者へ共有する際は、別利用者の名前を出さないように気を付けている。	
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		・LINEで伝わりにくい内容の場合は、直接お話しして食い違いがないように意識している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		・必要に応じて訪問先へ助言をしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	1		・現状行っていないので、検討いたします。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		・保育所等訪問支援の実施後に家族へ支援内容等の共有を行っている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・当施設のみの情報に関しては、訪問先施設に伝えないように留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		・訪問先施設からの相談に応じている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		・マニュアルを策定し、定期的に訓練を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		・安全管理のため、定期的に施設内外の点検を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		・月末にヒヤリハットを共有し、再発防止策について検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		・年に数回研修が行われている。 ・定期的な研修を実施することで虐待防止に努めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	1	・身体拘束について、契約を行う際に説明を行っている。	・現在、身体拘束が必要な利用者がいないため、計画書への記載はないが、今後身体拘束が必要な利用者がいる場合には計画書に記載する予定です。